

2020. 11. 22 「聖書預言・アップデート/最終警告」

<https://www.youtube.com/watch?v=UiTw76E-OnE&t=15s>

『最終警告』おはようございます。「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝を行っています。第一礼拝は、「聖書の預言」、そして、第二礼拝は、ハワイ時間の午前11時15分からライブ配信される「聖書の学び」に捧げています。節ごとに、神の御言葉を学んでいきます。現在、第二テモテです。ぜひご参加ください。今日は、特に今のような時代で「油断しないこと」の最重要性についてお話しします。また、新ウェブサイトの第一段階を立ち上げたことをさっとお伝えしたいと思います。まだの方は是非ご覧になり、ご登録されることをお勧めします。引き続き改善点や、次の段階に向けて取り組み中です。皆さんのご忍耐、そして何よりもお祈りに感謝します。特に、非常に活発なフォーラムに関してお祈りください。私たちは、このフォーラムが、人々が励まされ、啓発され、祝福される場所であることを心から望んでいます。この状況を乗り越えるため、私たちのために祈ってくださることに感謝します。では、本題に入りましょう。今日のアップデートについて 切に主を求め、主から示唆されたのは、こんにち世界で私たちが目にしている全出来事が、事実、この世界に下ろうとしている神の裁きへの 最終警告かもしれないということです。なんて明るい話でしょう…それは悪い知らせです。そしてここに良い知らせがあります。良い知らせは、確かにこれは、神の裁きが世界に降りかかるという 神の最終警告かもしれませんが、同時に、彼の花嫁をこの世から連れ出そうとしておられる事です。私は、それはまもなくであり、大変間近であると信じています。今日のアップデートは、考慮すべき問いかけから始めたいと思います。これは、自分への問いかけでもあるということをご理解ください。その問いかけとは次の通りです。仮説的な質問ですが、考えてみてください。もし皆さんが、携挙が数か月先だと知っていたら…何年先ではなく、数か月先です。今していることの代わりに、何をされるでしょうか？ 同じことを別の言い方で質問させてください。再度、仮にです。その日、その時は、だれも知らないのですから。(マタイ 25:36) どうかご理解ください。私は決して、日付を定めたり、予測をしているわけではありません。私は単に、もし携挙が文字通り数ヶ月後に迫っていたとしたら、どうするのかという疑問を投げかけているだけです。それは、皆さんのクリスチャン生活、日常生活にどのような影響を与えるのでしょうか。もし携挙が近いことを確実に知っていたとしたら、皆さんは、どんな違った行動をとるのでしょうか？ 何を变えますか？ どのような決断をされますか？ どんな優先順位をおかれますか？ 今行っていることで、携挙が来るとなれば 時間の無駄になるようなことは何でしょうか？ さらに踏み込んで質問します。どうか最後までお聞きください。もし携挙が数か月先だと知っていたら、ソーシャルメディアに相変らずそれを投稿しますか？ もし携挙が数か月先だと知っていたら、ソーシャルメディア上で今されていることにまだ時間を費やしますか？ さらに踏み込んでお聞きします。もし携挙が数か月先だと知っていたら、NetflixやAmazon、テレビを観ることに時間を費やしますか？ もっというなら、ニュースさえ見ますか？ もし携挙が数か月先だと知っていたら、皆さんどんな違ったことをされるでしょうか？ 誰に電話をかけますか？ 誰にメールしますか？ 今、しておられない何をされますか？ 私は謙虚に提案します。私自身も含め、私たちは皆、忠実にそれをしていくべきでしょう。今この時にです。私がこのように風に始めたかった理由は、全てのことが起きている速度が大変早く、言わば超高速であるからです。諺通り、終わりの時の前兆があると提案させていただきます。エルサレム・ポスト紙に掲載された、3つの報道に注目していただきたいと思います。1つ目は、水曜日、イスラエルが、国境で発見された爆発物に対応して、シリアにある イランとシリアの標的を空爆したことについてです。(引用) 「空爆は、ゴラン高原からダマスカスにかけて、ダマスカス国際空港付近のイラン軍複合施設を含む8つの標的を直撃。イスラエルは、繰り返しイランの覇権主義を警戒しており、何百もの空爆を行ったことを認めている。その理由は…」これは引用されています。お聞きください。「戦争間の戦争」キャンペーンの一環である。」覚えておいてください。

「そのキャンペーンとは、レバノンのヒズボラに高度な武器が渡ること、そしてイスラエルを容易に攻撃できる シリアでの勢力確立を阻止するためのものである。」 「戦争間の戦争」、あるいはマタイ 24 章に記されている預言の中で、イエスが仰っている「戦争と戦争の噂」と言えば、エルサレム・ポスト紙によると、「ある噂」がありました。それは、先週トランプ大統領が、イランの主要核施設を攻撃する 選択肢について意見を求めたが、最終的に、劇的な手段は取らないことにした、というものです。そして、これが 3 つ目の報道に繋がります。トランプ大統領の「ワープ・スピード/超高速作戦」のもと、軍を使つての「猛スピード」 COVID-19 ワクチン配布に関するものです。火曜日、エルサレム・ポスト紙は、ある質問を投げかける記事を掲載しました。それは、『新型コロナの mRNA ワクチンは、長期的に見て危険なのか?』というものです。引用します。「イスラエルは金曜日、ベンジャミン・ネタニヤフ首相が、ファイザー社の新しいコロナウイルスワクチンを 購入する契約を締結したことを祝った。しかし、ファイザー社あるいはイスラエルが契約中のモデルナ社が成功すれば、これらが人間の患者向けに市場に出る、初の ” メッセンジャー RNA(mRNA)” ワクチンになることは事実である。世界がこれらの全く新しい革新的なワクチンの接種を開始したとき、その長期的影響についてはほとんど不明である。」これら 3 つ、そして率直に言って同様多数のものに共通しているのは、すべて聖書の中で預言されているということです。まず、ブヨの眉毛 (簡単なもの) から始めましょう。そうです、ブヨには眉毛があります。シリア内、そしてシリアへの接近攻撃。それは何年も話してきた、イザヤ書 17 章 1 節のことです。「ダマスコについての託宣。『見よ、ダマスコは都の面影を失い瓦礫の山となる』。」それは非常に完全に、突然破壊されます。ダマスカスです。今、私たちがこうしている間に起こっています。今まさにです。繰り返しますが、ブヨの眉毛の先です。一筆ふるった先です。(あつという間に成し遂げられるという意味) 古い比喻であるのは分かっています。21 世紀的な比喻で言えば、「マウスをクリックするだけで」。これでましですか? ご興味のある方のために、概要欄に 10 月 25 日のアップデートのリンクがあります。ここで見たのは、私が主張する「聖書預言トップ 10」です。前述の ”ワープスピード/超高速” で成就しつつあるものです。これらの預言が単独で起こり、実現しようとしているのではなく、これら全てが一斉に、同時に実現されつつあるのです。同時にです。「前代未聞」という言葉を使います。なぜならまさにその通りだからです。人類の歴史の中で、こんにち目にしているようなことは見たことがありません。しかも世界的に、です。愚か者と呼んでもらっても構いません。もっと悪い言葉で呼ばれたことがあります。私のオフィスには、様々なニュース番組用の画面があります。こっちに、イスラエルの i24 ニュースの画面、ここ米国のもは、全く別の問題なのでもはや口に出しません。そしてもちろん、ここ地元のキリスト教番組の Kalo TV、あともう一つの番組用の画面があります。番組を切り替えたりしているので、今のところは名前は出さないでおきます。そして、私はそこに座って、アヤトラ・ホメイニがフェイスマスクをしているのを見えています。私は考えています。「ちょっと待った。」と。「ほんとですか?」「はい。」「イランの (アヤトラ・ホメイニ)?」「はい。」カイルアのフードランドではありません。イランでもです。すごいですね! マスクをつけているのは、マスクを外せるようになるための ワクチン競争があるからです。なぜそんな風私を見ているのですか? 皆さんもお分かりですよ? 現在のフェイスマスク着用は… フェイスマスクを着用しておられる方、神の祝福を。皆さん、ここは、” マスク不要を恥じない場所” とお分かりですよ? 一拍手ー ああよかったです。本当に良かったです。ありがとうございます。私は皆さんを愛しています。私の言った通りです。だから、皆さんを愛しているのです、そして、大好きです。現在、マスクは遵守として見なしているということは、ご存知ですね? しかし、ワクチンが登場すれば、マスクは、遵守ではなく反抗と見られます。なぜでしょうか? なぜなら私はワクチンは受けないからです。そうなれば、あなたはマスクを着用しなければなりません。他の人を見ると、「♪♪~私はマスク不要~。ワクチンを受けたから~!」そしてあなたは、反抗的と見なされます。(主よ。お助けください。。。) ワクチンについて話してよろしいですか? いいえ!とは言えないですよ?… (笑) … 気づかれずに抜け出せるよう、頭を下げて目を閉じましょうか? これも概要欄にリンクがありますが、7 月 12 日、私た

ちは、いかにこのワクチンが、実際に、将来的に、黙示録で預言されている獣の印になりうるかを見ました。今日は、深く掘り下げて行くことはしませんが、少なくとも、よく聞かれる質問を再見しなければ、大失念になると思います。その質問とは、仕事を続けるためにワクチンを接種しなければならない場合は どうすればいいか、というものです。おそらく、耳にされたことがあると思いますが、そのキャンペーンは大変巧みなものです。” No Jab:No Job/受けなければ仕事はない。” 聞かれたことがありますか？ 本当です。事実です。そして、ワクチンが登場しようとしている今、多くのクリスチャンがこの決断に直面しています。現在、認可待ちです。間違いなく、認可されるでしょう。そして、ワクチンを配布するため軍が配置されます。仕事を続けて、生計を維持したいのであれば、このワクチンを接種する必要があります。その時、あなたは どうされますか？ 自分が医学的なアドバイスができる立場にあるとは 決して思っていないことをご理解ください。ですので私は、個人的に どうするかを皆さんに共有します。もしそのような状況に置かれた場合、そして、他の人同様、 そうなるかもしれませんが、私は、ワクチンを受けません。獣のしるしを受け入れることになるからではありません。なぜなら現在のワクチンは、、、どうかお聞きください。現在のワクチンは、獣のマークではありません。獣がいま せんから、あり得ません。ですから、それは ”今はまだ” 獣のマークにはなりません。そしてそれが、今はまだ獣のしるしではない理由は、獣のマークを受け入れることは、黙示録によると…これが、神の御言葉を理解し、知ることが重要である理由です。私たちが住んでいる世界は、、 補足させてください。愛をもってこれを言います。私たちが住んでいるのは、聖書に無知であることが最も許されない世界です。何となく通用していたような、うまく逃げ切れたような世界はもう存在しません。もう、そういう世界ではありません。私たちは、もうそういう世界には住んでいませんし、 そのような世界は二度と戻ってきません。話を戻しますが、それはまだ獣のしるしではありません。なぜなら聖書、聖書預言によると、このしるしを受ける者は、獣の像に対して忠誠を誓い、崇拝することが伴うからです。売買し、働き、生活し、家賃や請求書を支払うためです。そしてさらに、これは、反キリストが崇拝を要求し、自分こそが神であると宣言する 7年間の患難時代の間時点までは起こりません。それは、7年間の患難時代の間時点までは起こりません。そして、神の御言葉を知ることが大変重要である、もう一つの理由があります。反キリストがすべての人にしるしを強要するとき、新生クリスチャンは、7年間の患難時代前に教会携挙がおこるので、ここにはいません。はい、主を褒め称えましょう。…拍手… 8月29日、私たちはアップデートを ”大患難前携挙の健全な教義と聖書的な証拠” に捧げました。主に、このような理由からです。説明させてください。皆さんが私同様なら、そしてそうだと思いますが、こんにち世界で起こっている全出来事を見て、こう考え始めます。「なんということでしょう。まるで患難時代のようなのだ。」それは、実際そうだからです！ 「つまり私たちが患難時代にいるということですか？」 「いいえ、そうではありません。」しかしそれは、ほんの始まりなのです言い換えれば、私たちが今 目にしている、最終的に7年間の患難時代に成就するであろう これらの全出来事が、今起こり始めているということでしょうか？ 因みに、恐らく言うておく必要がありますが、今は、患難時代ではありません。「ええ、でも牧師先生、私はソーシャルメディアの投稿を見ました。」 すぐお止めください。まずそれが問題です。ソーシャルメディアに行ってははいけません。なぜ御言葉に行かないのですか？ これはとても重要なことです。 どれほど言ってもいい過ぎる事ではありません。何もかもが混乱しているように見えて、恐ろしいとさえ思える時に なぜ、私たちが信じるのかを知る事です。いずれにせよ、携挙前の今、ワクチンに関する疑問はまだ残っています。繰り返しますが、私自身のことですが、その成分と、悪質で悪意ある目的故に接種しません。あなたが、文字通り選択の余地がない立場に置かれたら、 幾人かは そうなられるでしょうし、今すでに そうであられる方もいらっしゃるかもしれませんが、主を信頼してください。ただ主を信頼してください。主が、「なんということだ！」と仰るなど、一瞬たりとも考えないでください。「彼らはワクチンを受けなければならないのか？ 私たちはどうすればいいのか？ ガブリエル！マイケル！こちらへ来なさい！」すみません、陽気な感じで言っていますが、私の言いたいことをわかっていただけますか？ 木曜日の夜の聖書の学びで、「ソロモンの雅歌」は、あ

ることを全面に押し出しています。キリストの花嫁である私たちが、いかに花婿であるイエス・キリストを切望しているかという真実、強力な真実についてです。皆さん、このように考えたことがあるかどうかはわかりませんが、主も、私たちを待ち焦がれておられるのです。なぜ、私はそれを言うのでしょうか？なぜなら、私たちの花婿であるイエスが、ご自分が来られる前に、花嫁をめっちゃくちや (Buss up) にさせてしまうと思いますか？ Buss up は、ハワイの言葉です。本土では、Busted up=台無しにする、ダメにする、です。ハワイでは、短くして、Buss Up です。そんなことは起きません！ いいでしょう。何と言いますか、、、木曜日の夜に共有しましたが、私は文字通り、妻と結婚する前に、カレンダーのその日をマークしました。私たちは、2年間付き合っていました。先週、結婚32周年を祝いました。ありがとうございます。一拍手ー結婚して32年です。私たちは2年間付き合っていました。私たちはちょうど、あの時どれほど興奮していたか、振り返っていました。結婚式の日まで待ちきれませんでした。私はとても興奮していました！ その日までがとても長く感じられました。なんということでしょう。時間が経つのが遅いのです。皆さんもご経験がありますね？ とても長く感じました。しかし、結婚式の日は何？そして私は墮落した男です！ 神の人、私たちの花婿はどうでしょうか？ 彼が、結婚式の日まで待ちきれないと思っておられると思いませんか？ 皆さんを励まします。どんなに悪い状況になっても、そして特にこの件に関して、あなたがどんな決断に直面しても、神はあなたを見守られます。主は見ておられ、ご存知で、気にかけておられます。決してあなたを置き去りにしたり、見捨てたりしません。では、次に行きます。これが、誰一人として滅びることを望んでおられない、愛に満ちた神からの最後の警告であると、私が本当に信じている理由に戻りましょう。だからこそ主は、裁きの剣を下されることを人々に警告するため、見張り番を任命されています。彼らが悔い改めるように、前もって警告するため、見張り番を通して警告を鳴らしておられるのです。なぜなら、

「一人も滅びないで皆が悔い改めるのが御心だからです。」 (第二ペテロ 3:9 参照)

ですので、見張り番は街に配置されていて、どんな脅威も、何も来ないように見張っています。もし何かがあるのを見たら、彼らはラッパを吹いて警告しなければなりません。もしそうしなければ、人々の血の責任は、彼らにあるからです。エゼキエル書 33 章 7-11 節を読ませてください。

エゼキエル書 33 章

7 人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたが、私の口から言葉を聞いたなら、わたしの警告を彼らに伝えねばならない。

8 わたしが悪人に向かって、『悪人よ、お前は必ずしなねばならない』と言うとき、あなたが悪人に警告し、彼がその道からはなれるように語らないなら、悪人は自分の罪のゆえに死んでも、血の責任をわたしは御前の手に求める。」

9 しかし、もしあなたが悪人に対してその道から立ち返るよう警告したのに、彼がその道から立ち返らなかつたのなら、彼は自分の罪のゆえに死に、あなたは自分の命を救う。

10 人の子よ、イスラエルの家に言いなさい。お前たちはこう言っている。『我々の背きと過ちは我々の上であり、我々はやせ衰える。 どうして生きることができようか』と。

11 彼らに言いなさい。わたしは生きている、と主なる神は言われる。わたしは悪人が死ぬのを喜ばない。むしろ、悪人がその道から立ち返って生きることが喜び。立ち帰れ、立ち帰れ、お前たちの悪しき道から。イスラエルの家よ、どうしてお前たちは死んでよいだろうか。

叫びたくはありません。怒っていると思われたくないからです。皆さんの気分を害するので、また泣きたくもありません。それを知っているので、過敏にはなりたくありません。しかし、こう言う以外にどう言えばいいのでしょうか。これは、生死に関わることです。皆さん、今、私は人々を見る時、救われているのか失われているのか以外では見ません。天国に行くのか、地獄に行くのか。私は、人々を右派か左派か、民主党か共和党か、保守派かリベラルか、とは見ません。私は人々を見て、、、主は私の心をご存知です。彼らは、救われて天国に行くか、失われて地獄に行くかのどちらかです。私は理解しています。「JD 牧師は感情に流されやすい」と指摘されたこともあります。まあ、構いません。有罪

だと思います。私はこのことも理解しています。「神の裁きがくる～！」と説教し始めると…「火と硫黄が降る～！！」と。いいえ、そんなものではありません。実際に私が思うのは、このラッパを鳴らす必要がありますが、問題はそれができないことです。神があなたをととても愛しているからこそ、神の裁きが来るという警告、ラッパが鳴らされていることを理解してください。神は、悪人を裁くことに喜びを感じません。しかし、彼は公平な神であり、裁きが来ようとしています。それは誰もが信じているよりも間近に迫っています。私が、心から信じているのは、今日の世界で起こっていることは全て、大患難を示しています。興味深いのは、世界は、と言うよりも 世界経済フォーラムは、それを大患難とはいわず、実際には再起動でも再設定でもないのに、”偉大なる再設定”だと、誤称しています。それは、経済的、政府的、さらには宗教的に、あらゆるものの変革です。もう一度、繰り返し言うことをお許しください。しかし、これが生死に関わる理由なのです。皆さん、神が、神の御言葉で私たちに、これがまさに起こることだと仰ったことをご理解ください。それがすでに起こり始めています。始まっているのです。私は、神が人々を揺さぶり、目覚めさせようとされていると信じます。この世界的危機を通して、私たちがこの世界を手放すためにそうしておられるのです。「牧師先生。お願いしますよ。あなたは毎週そう仰っていますよ。」はいそうです。そして、私はそう言い続けます。問題は、悲しいことに、多くの人がこの一時的な土壌である この世とこの世の物ごとに、自分の根を深く根付かせているということです。先週私は、主と共に素晴らしい一週間を過ごしました。私は、救われたことにととても感謝しています。私たちがよく言うことですが、未信者の方々はどうされているのでしょうか？ この状況にどのように対処しているのでしょうか？ 悲しいことに、彼らは、薬、あるいはお酒の瓶に走ってしまいます。しかし先週、私は主と共に過ごし、これらのことを熟考していました。主は、エジプトにいたイスラエルの民、そして、主がエジプトに、裁きとしてもたらされた災いについて 思い出させてくださいました。それは丁度折の良いものでした。私の父はエジプト出身だからです。エジプトで生まれました。ですので、私は、御言葉の中で時間を過ごしました。神は、私が今まで考えもしなかったことを教えてくださいました。今まで、そのように見たことはありませんでした。考えてみてください。これらの災いは、エジプトに対する神の裁きだけではありませんでした。それは同時に、彼の民がエジプトから出たがるようにするためでもありました。私は、そのように考えたことはありませんでした。「ちょっと待ってください、牧師先生。彼らは奴隷だったではありませんか。」分かっています。「それが彼らの知っている全てでした。」分かっています。「それなら、彼らは去りたいに決まっています。」それは、「出エジプト記」を読めば一目瞭然です。彼らは、何度嘆いて、不平を言っているのでしょうか。彼らには、いわゆる選択的記憶があります。マナについて覚えていますか？ 毎日同じものだったので、彼らはどんどん嫌気がさしてきていました。今日もマナ、明日もマナ、その次もマナ。マナ、マナ、マナ。「肉を食べたい！」と。彼らは、過去に思いを馳せ、感傷的になり、「エジプトにいた時は、ビュッフェがあって、ネギと玉ねぎがあって…」。「はい??何ですって??」「エジプトへ戻りたいのですか?」「はい。戻っていいですか?」ではそもそも、離れたくなかったのでは? ここに質問があります。神が、エジプトに災いをもたらしていなかったら、どれだけのイスラエル人が去りたくなかったことでしょうか。ところで、それが世界の縮図です。エジプトは、世界の典型です。イスラエルの民をエジプトから救い出した”モーセよりも偉大な”私たちの救い主、その名はイエス。この世界のエジプトから私たちを救い出してください。罪への奴隷から。モーセは、イエスの雛型であり描写です。そして、私はエジプト生まれで、私が知っているのはエジプトの奴隷制度と エジプトのビュッフェだけで、明らかにおいしいらしいです。そして、モーセが来て言います。「私たちは出て行く。行こう。」「どこへ行くのですか?」「私たちはここから出るのだ。」「どこに行くのですか?」「私たちは主を信頼する。行くのだ。」「あなたがたを救いに来た。」「私は、救われたくありません。」「ああ本当に? よろしい。」「まあ、ファラオはどちらにしてもすぐには行かせてくれないだろう。」そして第一の災いです。第一の災い後に、何人のイスラエル人が「はい。行きましょう。」と言ったのでしょうか。私が思うに、第二の災いだったと思います。なぜか知りたいですか? 誰か仰いましたね。

はい。カエルです。Farag/ファラグではなく、Frog/カエル。それは私の気を引いたでしょう。ご理解ください。皆さん良いですね。皆さん悪いですが、良いです。しかし皆さん、これらの災いの一つ一つは、エジプトの多くの神々の一つに対するものであることを理解しなければなりません。彼らには、3,000以上の神々がいました。それは沢山の神々です。彼らには、カエルの神がいました。そうです。彼らはカエルを崇拝していたのです。彼らは、ナイル川を崇拝しました。神は仰います。「ナイル川を崇拝したいのですか？見ていなさい。」一ナイル川血に変わる一「ああ、あなたがたはカエルが好きですか？」（Farag/ファラグも）「あなたがたはカエル好きですね？」「カエルを崇拝したいのですか？では、大量の蛙をどうぞ。」第二の災いで私は降参です。モーセを見て、「モーセ、お願いします。行きましょう！出発しましょう！準備はできています。」と。第十の災いでは、死の御使いが来て、興味深いことに、初子が死にます。例外は、家の玄関に、傷の無い子羊の血を鴨居に塗り、下に盆を置き、また左右に、十字架の形に塗ってある場合です。ローマが、十字架刑を考案する以前の世代です。過越の子羊、キリスト・イエスの描写であり、預言です。そしてそうしていれば、死の御使いは、私たちを過ぎ越します。なぜなら彼が、神の初子だからです。私たちの代わりに、私たちのために死んでくださった神のひとり子です。（咳をして）すみません。私はCOVID/コロナに感染していません。咳をするのも鼻をすするのも気が引けますね。私は、喘息持ちです。では、十の災いのうち、致命的だったのはどの災いでしょうか？十の災いのうちのどれが、神の裁きが下るのは、彼らを連れ出すためであると、最終的に納得させたのでしょうか？皆さん、私が言いたいことがお分かりだと思いますので、要点を言います。裁きが下るのは、私たちがここから離れたくなるためです。ここに真理があります。神の裁きが来ようとしています。私は、警告を鳴らしています。ラッパを吹いているのです。しかし、イエスも来ようとしています。それは良い知らせです。それが福音です。さて、これが要点です。救いの福音を説くことには、来たるべき裁きと、天罰の警告も含まれていなければなりません。その理由は、永遠の天罰に現実味がなければ、人は永遠の救いの価値を下げる傾向にあるからです。第一コリント人への手紙9章16節の、使徒パウロについて考えていました。私は、永遠の天罰の深刻さと言うレンズを通してこれを再認識し、永遠の救いの豊かさにたどり着きました。これが適切な英語ではないことを知っていますが、悪い知らせが悪ければ悪いほど、(Badder) 良い知らせがさらに良くなります。(Gooder)そして、悪い知らせは本当に悪いです。それは本当に、本当に悪いです。永遠の天罰です。かなり最悪です。そう思いませんか？そして、そのレンズを通して見たとき、次のように言っている使徒パウロの心を再び思い出させてくれました。「もっとも、わたしが福音を告げ知らせても、それは私の誇りにはなりません。そうせずにはいられないことだからです。…」そして、彼はこう言います。

「…福音を告げ知らせないなら、私は不幸なのです。」（第一コリント 9:16）

彼が、何を言っているのか分かりますか？今の時代を生きる私たちは誤解していますが、「Woe/うわー」は、「Wow/嬉しいこと」ではなく、「Woe/うわーは、良くないこと、呪い」です。先日、息子が言っていました。「マジでスラップ（平手打ち）だ！」と。「誰が平手打ちされたんだ？」と私は思いました。スラップは今のはかっこいいことのようにです。数年前、下の息子は学校から帰宅して、「マジでヤバイ（Sick/病気）」というので、「誰が病気なのか？」と聞きました。皆さん、Sick/病気が良いとされる時にイエスが来られることをご存知ですね。「なあ、それってヤバイ/Sick。」と言うのはかっこいいことのようにです。それは良いこととされています。イエス様、早く来てください。Sick 病気、Slap 平手打ち、Woe 呪い.... いいえ！それらは悪いことです！すみません脱線しました。要点はお分かりですか？パウロは、「私は不幸だ。」と言っているのです。「もし福音を告げ知らせないなら、私は不幸だ。」と。そして、ローマ人への手紙1章16節で、彼はこう言っています。「わたしは福音を恥としない。」怖がったり、恥ずかしがったり、縮こまったり、屈服したりしない、と。そして、ここに理由があります。

「…福音は、ユダヤ人はじめ、ギリシア人（異邦人）にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。」（ローマ 1:16）

正しく理解しているか確認させてください。ご辛抱ください。私たちには、最も強力な知らせがあります。イエス・キリストの救いの良い知らせ。救いの力です。私たちは、それを共有しないのですか？ 私たちは、それを恥じているのでしょうか？ 私たちは、怖がっているのでしょうか？ 話せば、彼らが自分のことをどう思おうかと。ネタバレです。相手が既にあなたをどう思っているのか、あなたにはわかりようもありません。何か失うものがありますか？「ええ、でも嫌われたくないんです。」彼らは、すでにあなたを好きではありません。ちょっと強すぎましたかね？「でも私は、人を不快にしたいくないんです。」いえいえ！福音とは不快なものなのです！私は、お世辞を言って彼らを地獄へ行かせるよりも、むしろ不快にさせてでも天国へ行かせたいです！私は、あなたを不快にさせたいです！天国行きへと。なぜなら、福音はこう言います。「あなたは、罪びとです。」「まあ、それって失礼だわ！」それは良かったです！「あなたは攻撃的です！」それは良かったです！なぜなら、いつかあなたは、全能の神と対面するからです。福音とは何でしょうか？第一コリント 15 章 1-4 節。「兄弟たち、わたしがあなたがたに告げ知らせた福音を、ここでもう一度知らせます。これは、あなたがたが受け入れ、生活のよりどころとしている福音にほかなりません。」「どんな言葉でわたしが福音を告げ知らせたか、しっかり覚えていれば、あなたがたはこの福音によって救われます。さもないと、あなたがたが信じたこと自体が、無駄になってしまうでしょう。」「最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、私も受けたものです。キリストが、聖書に書いてあるとおりにわたしたちの罪のために死んだこと、」（預言の成就です）「葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに三日目に復活したこと、」それが福音です。使徒パウロが、”福音とは何か？”について書くのは、これが初めてではありません。彼が初めて書いた時をご存知ですか？それは、彼の最初の手紙の中にあります。彼の最初の手紙は、私たちが学び終えた、「第一テサロニケ人への手紙」です。これがまさに、使徒パウロが書いた最初の手紙でした。そして皆さん、信じられますか？彼が福音を伝え、福音を説き、彼らに携挙の文脈で福音を思い起こさせている事を。彼の語っている事をお聞きください。

第一テサロニケ 4 章 13 節

13 兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次の事を知っておいてほしい。」

14 イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。（これが福音です。）神は同じように、イエスを信じて眠りについたひとたちをも、イエスと一緒に導きだしてくださいます。」

それが何を意味するかご存知ですか？教会携挙の際、キリストを信じて死んだ人々、キリストにおける死者が先に復活するのです。それが肉体の復活です。ちょっと待ってください、彼らは今どこにいるのでしょうか？肉体から離れると言うことは、主と共にいると言うことです。この復活で、彼らは新しい肉体を得ます。私の亡くなった娘ノエル、彼女は新しい肉体を得ます。私の母は、新しい肉体になります。私の父とも、新しい肉体で会えるのを願い信じています。彼らが先に復活します。そして私たちは…パウロは続けています。「主の言葉に基づいて次のことを伝えます。主が来られる日まで生き残る ”わたしたち” が、…」皆さん、それが誰であるか分かりますか？私たちです～!!私たち!!皆さんで、私です!! 私たちです!それは、”We/私たち”! 私たちは ”私たち”! あなたは ”私たち” ですか? ”私たち” になってください。失礼しました。

15 主の来られる日まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちよりさきになることは、決してありません。」

16 すなわち、合図の号令がかかり、主御自身が天から降って来られます。これが福音です。良い知らせです!...合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、

17 それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて”引き上げられ”ます。

ギリシャ語ではハルパゾです。ラテン語のバルゲート訳では、ラプトゥルーラス “Raptus” と訳されていて、これが英語の単語 “Rapture” を音訳したものです。ですから、次に誰かが 「携拳 (Rapture) という言葉は、聖書にはありません。」と仰るなら、「ラテン語の聖書にはあります。」と仰ってください。

17 空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ (携拳され) ます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。

18 ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい。

特に今の世の中では、何度読んでも十分すぎることはありません。何度聞いても十分すぎることはありません。私たちは落胆しやすいですから。互いに励まし合いなさい。これが良い知らせです。イエスが死なれ、葬られ、彼は3日目によみがえられた。そして、彼は今や、いつでも戻って来ようとされています。今日かもしれません。これが、私たちが、毎週「聖書預言・アップデート」を行う理由です。そして… どのように言えば良いでしょう…このように言わせてください。聖霊様、助けてください。私が呼吸をしている限り、そして、私がこの神の教会で、この説教壇の後ろに立つという深い特権を持っている限り、私の最後の呼吸まで、私の全呼吸の1つ1つで、私は、キリスト、それも十字架につけられたキリストのことを 伝え続けます。それだけです。一拍手ー 他の福音を説くつもりはありません。イエス・キリストの福音には、救いの力があります。それが、良い知らせなのです。それが、あなたの唯一の希望です。それが、私の唯一の希望です！ 私の希望は、誰にもありません。どんな人にも、どんな物にも、イエスにだけです。一拍手ー 最後に、あ、「最後に」と言うべきではありませんね。私には、もっと「最後に」があります。しかし、「最後に」の1つをお聞きください。数ヶ月前、主から、「今までにない時代に突入している。」と示唆されました。私たちが人類歴史上で見たことがなく、また二度と見るのがなく、そして、イエスが戸口に立っておられる時代です。「主よ、私は何年もそのことを説教してきました。」という感じでした。主は、こう仰いました。「そうだが、今やもっと深刻だ。」「主よ、どういう意味ですか?」「出来るだけ早く、人々を私のもとへ近づけてほしい。」「あなたに求めるのはそれだけだ。後は私がする。」「人々をイエスに導きなさい。」「あるいはイエスのもとに連れ戻しなさい。」「ただ彼らを私の所へ導きなさい。」「もう時間は残っていない。時はすぐそこまで来ている。」と。ですから毎週、これらのアップデートを行うとき、それは、イエスについて、イエス・キリストの福音についてなのです。私が話さなくなる日が来ます。ここにはいませんから。そして、あなたもここにいない方が良いです。最後にここで少し時間を取りたいと思っていました。なぜなら、私たちは証を共有してきており、私は正直、これらの証が実に世界中の多くの人々に どれほどの祝福と励ましを与えているか、見当さえついていませんでした。今日は皆さんにいくつか共有したいと思います。繰り返しますが、世界中の人々から多くの証をいただいています。この証から始めたいと思います。先週のアップデートをご覧になったオンラインメンバーからです。「親愛なる JD 牧師、私は何ヶ月もの間、あなたの預言アップを見てきました。私は自分が (不信心に) 逆戻りしているのは分かっていたのですが、私の一部はまだ、終わりの時の預言に魅了されていました。私はちょうど、11月15日の (先週の日曜日の) 動画を見ました。そして、私は再び人生をイエスに捧げたことをお知らせしたいと思います。私は、同性愛に関わっていました。しかし、ここ1~2か月の間に、神の恵みによって、私は男性に対する欲望から解放されました。イエスへの再献身と、性的純潔において、あなたが果たしてくれた役割に大変感謝しています。あなたとあなたの家族に神の祝福がありますように。一拍手ー 福音には、救いの力があります。私が、イエスの前に立つとき、言ってもらいたいことがあります。「よくやった。忠実な良い僕だ。」と。(マタイ 25:21 参照) 私は、誰の血の責任も負いたくありません。私は、誰の血の責任も問われたくありません。イエスよ、ありがとうございます。イエスよ、ありがとうございます。あといくつかあります。落ち着かなければいけません。少々お待ちください。次は、アンナさんからです。お聞きください。彼女は、オアフ島のオンラインメンバーです。皆さんお気づきかどうか分かりませんが、私たちにはここにお越しにならない多くの方々がいるのです。しかし彼らは、

オンラインメンバーです。彼女はその一人です。「こんにちは！カルバリーチャペルファミリー、私はオアフ島の中心部に住んでいます、 常日頃から YouTube で毎週預言・アップデートを見えています。舞台裏での皆さんの懸命なご奉仕に感謝したいと思いました。私はグラフィックデザイナーで、副業でステッカーのイラストを描いています。私は、JD 牧師のメッセージでイエスの福音を伝えること、そしてステッカー販売という副業を含め、人生のあらゆる面で大胆になるよう励まされました。お買い上げいただいたお客様には、 ” 救いの ABC” のしおりをプレゼントしています。表は私がデザインした絵で、そして、もっと重要なのは、裏面のイエス・キリストの福音です。初めのうちは、（お聞きください。）しおりを作成中、 拒絶されるのではないかと恐怖を感じていました。” 誰かを不快にさせて、悪い評判がたったらどうしよう？” （これはお仕事ですから）マタイによる福音書 10 章 32 節（33 節）を読むと、 そのような考えはすぐに払拭されます。家に帰られたら調べてみてください。イエスが仰っています。

「人々の前でわたしを知らないと言う者は、 わたしも天の父の前で、その人を知らないと言う。」（マタイ 10 : 33）

「マハロ（ありがとう）、カルバリーチャペル！ 主において強くあってください。」次は、オンラインメンバーのカレンさんからです。「JD 牧師、こんにちは。私は、3 年前からあなたの説教と聖書預言・アップデートを聞いています。（おかわいそうに）何よりもまず、100%本物であられ、このような時代に 聖書預言を広めてくださったことに感謝したいと思います。終末時代について語る牧師はほとんどいません。 そのようにしていただいたことに感謝しています。私はこのアップデートだけでなく、証やビルボードなどで御言葉を 広めておられる人々の姿を見て、心を打たれます。最近、ビルボードを設置しようと思いましたが、しかし、これまでとは違うアプローチをした方が良いと感じ、 庭先の看板や名刺を作ることにしました。すべての人がビルボードを買えるわけではないので、これに決めました。神は、他の人のために、費用対効果の高い他の方法を考えるように 私を導いてくださいました。この画面は、私が作った看板とカードです。看板は私の庭に出し、カードは スーパーの駐車場に止まっている車の窓に挟んでいっています。歩き回って、見逃すことがないように、ドアハンドルの真上の窓に挟んでいます。 お店に行く時や用事で外出するときは、出来るだけ多くの車にそうしています。到達できる人数が多ければ多いほど良いのです。 この世界は暗く邪悪なもので、もっと希望と真理を広める必要があります。神の御言葉をそのまま語り続けてくださりありがとうございます。あなたと教会とイエスの再来を祈っています。神の祝福を。」次は、フロリダ州のジェフからです。「JD 牧師、私は最近、ピックアップトラックにこのステッカーを貼りました。私は、フロリダ州オレンジ郡の消防士です。これはいく人かの眉をひそめ、疑問を投げかけました。あなたが、バンパーステッカーには興味がないと仰っていましたが、（そうなんです。）しかし、ビルボードを購入する余裕がないので、これが「救いの ABC」への私の貢献です。ワクチンがもうじき、緊急対応要員者に義務化されるかもしれないと聞き、 消防士/救急隊員として、また妻は看護師であるため、 私たちは失業するかもしれません。でも、構いません。私たちは、主が守ってくださると心から信頼しています。お体にお気をつけて。神の祝福を。」はい。。一拍手 次のは、なかなかです。ハンドサニタイザーです。「アロハ〜カルバリーチャペルカネオへの家族の皆さん、「興奮と共にご紹介します。 主がお導きになった、新たな” 救いの ABC” を広めるツールです。ハンドサニタイザー！ ABC をどこに載せるべきか、ずっと祈ってきました。実用的で、最大限に ABC を見せるために、 複数の用途を兼ね備え、また使用者の役にたつものを探していました。登場しました：ハンドサニタイザー！ トイレトペーパーや除菌シートと並んで、 ハンドサニタイザーは「コロナチック」な日用品の一つです。道行く人に吹きかけ、”イエスの御名で清められよ！” と叫ぶことを想像している一方で、恐らく私は、人々にそっと手渡してこう言うでしょう。” ほら、これで内側も外側も清められますよ。” あなたにとっても感謝しています。（なんとクリエイティブなのでしょう）閉鎖が起こる直前まで、私は主に、 充電するために彼と離れた時間を必要だと話していました。主が心にしっかりロックダウン（しっかり留まって）が増えたので、 彼がこの「封鎖」を与えてくださり嬉しい

です。何年も前から主を知っていて、愛していましたが、 やっと主がどれだけ私を愛してくださっているのかが分かったような気がします。それは美しいです。ハンドサニタイザーが今晚届きました。使うのが待ちきれません。今晚は特に予定がないのですが、 どこへ行って渡そうかと祈っています。私の人生で、ハンドサニタイザーにこれほど興奮したことはありません。あなたとあなたのチームへ祝福を。一拍手一もうすぐ天国であなたに会うのを待ちきれません。ヴァネッサより。」では次。さらなるキーホルダーです。 イギリスのアンジェラさんからです。「英国サリー州ホーリーから皆さんに祝福を。あなたがされていること、 YouTube で共有なさっていることに、とても鼓舞されました。私たちは現在、ここサリーで手作りのABC キーホルダーと、 あなたの預言アップについてのリーフレットを共有しています。たくさんの人に到達できることを願い、祈っています。皆さんに神の祝福を。これからも頑張ってください。 アンジェラより。」次は、先週のものに対する反響です。 なんとということでしょう。先週のことです。このオンラインメンバーはゲイルにメールを送っています。 ゲイルは私の素晴らしい管理アシスタントです。彼女は本当に素晴らしいです。皆さんに、このメールを共有したいと思います。「こんにちはゲイル、 キーホルダーについての最新情報をお伝えしたいと思います。それは、これまでの人生で経験した中で、最大の WOW/わお！の瞬間でした。ファラグ牧師は私の心に触れました。私の教会と家族は、日曜日、夢中になって見ていました。とても感激し、祝福されています。 なんと、5分以内に 50 通以上のメールが来たのです。私たちは彼女に伝えました。沢山メールを受け取ることになる。彼女は構わないと言っていました。彼女が理解していなかったと思います。彼女は仰っています。「全身震えました。衝撃的でした。興奮し、少し圧倒されました。しかし、神は、私を導いて下さいました。今週は多くの「しかし、神は。」の瞬間がありました。私は既に、400 以上のキーホルダーを郵送し、 来週は更に増える予定です。非常に多くの注文を頂き、非常に多くのメールを送信しました。300 ものメールに返信し、さらにたくさん来ています。私の最大の祝福は、素晴らしいメールの数々を読んでいることです。 たくさん涙を流しました。これは素晴らしいミニストーリーであり、 自分がその一部であることにとても祝福されています。私は最終的に、すべての方にメールを送る予定です。 皆さんに個人的に返信したいのです。毎晩、私は 50 人近くに電子メールを送ります。 皆さんキーホルダーを希望されています。あるメールには、” まず 100 個欲しいのですが” と書いてありました。そういうメールがたくさんあります。正直に言うと、最初は圧倒されました。 これをやったのは 間違いだったのかなと思いました... しかし、神は。はい... しかし、神はこう仰いました。「すべての人に手を差し伸べなさい。」と。それが、携挙が来るまで私のすることです。私は、失われた魂をイエスに導くために働いています。再度ありがとうございます。 私はとても祝福されています。一拍手一夫は、家の中に大きなスペースを作ってくれています。私はそれを「ロレインのキーホルダーミニストーリー」と呼んでいます... 『しかし、神は。』先週のような気持ちになったことはありません。私は、それが聖霊であることを知っています。神は、私の人生をまるごと変えられました。いつかハワイに行って、あなたの教会を訪れたいと思います。もしハワイに行けなくても、天国に行けるのは分かっています。 私はそこで皆さんにお目にかかります。神の祝福を。ロレーヌ・ベルナップより。」主を褒め称えます。一つだけ、手早く共有したいことがあります。ここにおられる方は、去年バリー・マクガイアさんが来て、 毎日誰かをイエスに近づけていくことについて 話されたのを覚えておられるかもしれません。そして、一緒に分かち合いたくなるような彼の喜び。つまり、ここで彼女が言っているのは、この喜びのことです。恐らくこれはここに来られているどなたか、 またはオンラインで見られているどなたかのためです。その喜びはいつもあったわけではありません。本当のことを言うと、あなたは不毛の砂漠の中にいるようなものです。あなたは霊的に乾燥しています。私はあなたを励ましたいと思います。私は抜け道を知っています。誰かにイエスを共有してください。それはあなたの人生を変え、彼らの人生を変えるでしょう。これ以上の喜びはありません。お聞きください。私はこれを誇りに思っていないですが、しかし、キリストのもとに来る前、 私は麻薬の売人、麻薬中毒者でした。私は、存在する全ての薬を試しました。しかし、私は誰かとイエスを分かち合うこと以上の 高揚を味わったことはありません。一拍手一私たちが天国に行

ったら... 私は待ちきれません。もうさほど、待つ時間は長くはありません。天国に行って、あの人たちがいたら..... それだけが私たちが持つていけるものです。天国には何も持つて行けません。持つていけるのは、キリストのために手を差し伸べた人たちだけです。最後に一つ引用しますが、今は主と共にいる聖人、CT スタッドだったと思います。間違っているかもしれません。彼の有名な言葉です。「やがて人生は去り行く。キリストのためになされたことだけが続く。」では、救いのABCとは何でしょうか？ ただ子供にでもわかる 救いの簡単な説明です。ABCのようにシンプルです。A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また 自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。ローマ人への手紙 3 章 10 節、

「正しい者はいない。一人もいない。」(ローマ 3 : 10)

言い換えれば、あなたは良い人かもしれませんが、それは決して十分ではありませんローマ人への手紙 3 章 23 節が理由を教えてください。

「人は皆 (私たちの誰しもが)、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」(ローマ 3 : 23)

ローマ人への手紙 6 章 23 節が興味深いのは、先にくる悪い知らせと、そのあとに来る良い知らせがセットになっていることです。悪い知らせは、罪には罰則があるということ。そして、その罰則は死刑宣告です。

「罪が支払う報酬は死です。...」(ローマ 6 : 23a)

しかし、ここに良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」(ローマ 6 : 23b)

それが A です。次が B。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9~10 節、

「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10 : 9)

そして、最後に C。大変シンプルです。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9~10 節、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10 : 9)

そして、ここに理由があります。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10 : 10)

そして最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』(ローマ 10 : 13)

今思いついたのですが、数年前、私はカンファレンスで話していました。メモには書かれていませんでしたが、主がそれを私の口に置かれたので、それを話しました。こんな感じです。呼び求める者は全て“私たち”になる。呼び求める者は全て“私たち”になる。私は「私たち」になりたいです。ご起立ください。祈りましょう。主よ、ありがとうございます。愛する、天のお父様。福音の簡潔さに、感謝してもしきれません。私たちをこれほど愛してくださっていることを、どうやって感謝しきれのでしょうか。あなたは、あなたのひとり子を送り、私たちのために犠牲にされました。彼を信じる者は誰でも、永遠に地獄で滅びることはなく、永遠にあなたと共に永遠のいのちを得ることができるためです。(ヨハネ 3 : 16 参照) 主よ、聖書預言に感謝します。終わりの時に、世界がどのようになるのか、聖書の中に詳しく書かれていることに感謝します。明らかに、あなたは、私たちが 聖書預言について無知であることを望んでおられません。私たちが備えることを望んでおられます。主よ、世界で何が起きているのか、世界に降りかかるすべてのものを見渡してみれば、あなたの裁きが来ようとしているのは間違いありません。しかしあなたの裁きが来るということは、イエス様、あなたも来られるということです。ですから主よ、その通り、主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7